

平成31年度

大学院保健看護学研究科  
保健看護学専攻(博士前期課程)  
学 生 募 集 要 項  
【追加募集】



京都府公立大学法人

京都府立医科大学大学院  
保健看護学研究科

## 保健看護学研究科博士前期課程アドミッションポリシー

### 『求める学生像』

- 1 高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 3 自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

### 『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、人々が生活する地域社会において高度医療に対応できる質の高い看護を提供できる学生を求める。

本学の入試では、看護学の共通領域および研究領域の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志願理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

# ＝ 目 次 ＝

## 学 生 募 集 要 項

1	募集人員	1
2	受験に至る手続	1
3	試験日程等	1
4	出願資格	2
5	出願資格の認定	3
6	研究領域等についての事前相談	4
7	身体等に障害のある入学志願者との事前相談	4
8	出願手続	5
9	合格発表	6
10	入学手続等	7
11	留意事項	7
12	その他の注意事項	7
	入学試験場案内	9
	所定の用紙（事前相談等連絡票）	10

## 保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

1	教育目的	11
2	教育課程の概要	11
	教育課程	11
	履修方法	11
	修了要件	11
	学位の名称	12
	長期履修制度	12
	表1 授業科目と担当教員	13
	表2 がん看護専門看護師コースの教育課程表	14
	表3 保健看護学研究科博士前期課程研究領域・単位認定教員一覧	15

## [ 学 生 募 集 要 項 ]

### 【 1 募 集 人 員 】

研 究 科 名	課 程 名	専 攻 名	募 集 人 員
保健看護学研究科	博士前期課程	保健看護学専攻	若干名 〔 社会人としての 入学生を含む 〕

- 本学では、働きながら学びたいという意欲と能力を持った志願者のニーズに応えるため、社会人も受け入れている。社会人として入学した学生に対しては、個別状況に沿えるような授業・研究指導を行うよう配慮している。

また、大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学を卒業していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することができる。

- 「がん看護専門看護師コース」を併設しています。  
一般社団法人日本看護学系大学協議会（専門看護師教育課程認定委員会）において、38単位課程認定済。

### 【 2 受 験 に 至 る 手 続 】

- 出願資格の確認（2～3頁を参照のこと）  
なお、出願資格認定を必要とする者は、次の期間内に手続きを行うこと。  
認定申請期間 平成30年10月11日（木）～平成30年10月26日（金）
- 研究領域等についての事前相談（4頁を参照のこと）  
事前相談期間 平成30年10月11日（木）～平成30年11月14日（水）
- 出願手続（5～6頁を参照のこと）  
出 願 期 間 平成30年11月15日（木）～平成30年11月22日（木）

### 【 3 試 験 日 程 等 】

- 試験日時・科目  
入学者の選抜は、専門科目、面接の結果並びに提出された出願書類を基にして行う。

試 験 日	科 目	時 間
<u>平成31年1月25日（金）</u>	専 門 科 目	9:00～10:40（100分）
	面 接	11:00～

※専門科目については、以下の2題を解答する。

- ①志望する研究領域問題1題(15頁の表3参照)
- ②共通領域問題1題

※面接では、指導的・実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価する。

- (2) 試験場 京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町410  
(9頁の入学試験場案内のとおり)

#### 【4 出願資格】

次の(1)～(11)のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者及び入学前年度の3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学前年度の3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣が指定した者(昭和28年文部省告示第5号)及び入学前年度の3月までにそれに該当する見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

(10) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者

(11) その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び入学前年度の3月までに22歳に達する者

**※ (9) (10) (11) により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせして下さい。（下記5参照）**

**※ (9) (10) (11) により出願しようとする者は、原則として実務経験が3年程度あること。**

**※公益社団法人日本看護協会のがん看護専門看護師認定審査にあたっては、「看護師の資格取得後、実務研修が通算5年以上であり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であること。」となっている。**

## 【5 出願資格の認定】

出願資格の認定を受けて出願しようとする者は、次により必ず事前に出願資格の認定申請を行うこと。

ただし、認定申請の前に、研究領域等についての事前相談を必ず行うこと。（4頁参照）

(1) 申請期間

**平成30年10月11日（木）～平成30年10月26日（金）**

**（期間内に必着のこと。申請期間後に到着した場合は受理しない。）**

(2) 申請先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

**京都府立医科大学学生部学生課入試担当**

電話(075)251-5167

(3) 申請書類

次の書類を申請期間内に到着するように**郵送又は持参により提出すること。**

**（直接持参する場合、受付時間は午前9時から午後4時まで。）**

提出書類等	内容
ア 出願資格認定申請書	本学所定の用紙（様式1）に必要事項を明記すること。
イ 出願資格認定志望書	本学所定の用紙（様式2）に必要事項を明記すること。
ウ 卒業（見込）証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。

提出書類等	内容
エ 成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。
オ 看護師等免許証(写し)	実務経験が看護職者（保健師、助産師、看護師）としてのものである場合に提出すること。 <b><u>A4版のコピーとすること。</u></b>
カ 在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書
キ 返信用封筒	角形2号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、380円切手を貼付したもの。

(4) 認定審査結果

出願資格認定に係る審査の結果は、本人あて書面で通知する。

**【 6 研究領域等についての事前相談 】**

すべて入学志望者は、出願に先立ち、志望する研究領域及び入学その後の履修内容についての本学担当教員との事前相談が必要となっている。

については、次の連絡先まで、事前にメールまたはFAXにより送信・連絡の上、相談日時の手配を行うこと。

なお、連絡の際は、本学所定の用紙（10頁）を使用すること。

(連絡先) 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465  
**京都府立医科大学学生部学生課入試担当**  
 電話：(075)251-5167  
 FAX：(075)251-5216  
 メール：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

(相談期間) **平成30年10月11日(木)～平成30年11月14日(水)**  
 ※当日は、原則として午前9時から午後5時まで。  
 ※担当教員の都合により、必ずしも希望する日時とならない場合があるため、注意すること。

**【 7 身体等に障害のある入学志望者との事前相談 】**

身体等に障害のある入学志望者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、**平成30年10月11日(木)～平成30年10月25日(木)まで**に本学学生部学生課入試担当まで文書（任意様式）で照会すること。

## 【 8 出願手続 】

### (1) 出願期間

**平成30年11月15日(木)から11月22日(木)までの消印のある「(簡易)書留郵便」に限り受け付ける。**

### (2) 出願書類提出先

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

**京都府立医科大学学生部学生課入試担当** 電話(075)251-5167

### (3) 出願書類

次の書類を本学所定の封筒に入れ、出願受付期間内に到着するように「(簡易)書留郵便」で送付すること。**郵送以外の方法により出願した場合は受理しない。**

提出書類	内 容
①入学志望書	本学所定の用紙(様式3)に必要事項を明記すること。
②入学志望理由書	本学所定の用紙(様式4)に必要事項を明記すること。
③受験票及び照合票	本学所定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼り付けること。(受験票及び照合票の写真は、同一のものを使用すること。)なお、写真裏面に氏名を記入のこと。
④卒業(見込)証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。 *出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する証明書を提出すること。
⑤成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。 *出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する成績証明書を提出すること。 *大学以外で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当該校の成績証明書も併せて提出すること。
⑥在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書(がん看護専門看護師コースの受験者のみ)



提出書類	内 容
⑦出願資格認定審査結果通知書写	出願資格認定を受けて出願する者は、本学から通知の「審査結果(通知書)」のコピーを提出すること。 <b>(この場合、上記④⑤⑥は不要)</b>
⑧入学考査料	30,000円 <b>本学所定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込むこと。</b> (現金、小切手等では一切受け付けない。)その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書(大学提出用) <b>C票</b> 」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼り付けること。
⑨ 返信用封筒 (受験票返送用封筒)	本学所定の封筒で、志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、 <b>郵便切手392円(簡易書留郵便の場合)</b> を貼り付けること。
⑩あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入すること。なお、合格通知の際に使用するので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入すること。

※提出書類等の氏名は、通称や略字などを使用せず、戸籍簿(外国人の場合は外国人登録をした氏名で通称名を除く。)に記載のとおり記入すること。

## 【 9 合格発表 】

(1) 日 時

**平成31年2月1日(金) 午前10時15分**

(2) 場 所

京都府立医科大学河原町キャンパス内掲示板に掲示するとともに、合格者に通知し、併せて入学手続に必要な書類を送付する。また、本学ホームページにも、上記合格発表日時以降に合格者の受験番号を掲載するが、ホームページでの情報提供は参考情報であるため、合否の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認すること。

なお、電話、FAX等による合否の問合せには、一切応じない。

本学ホームページアドレス : <http://www.kpu-m.ac.jp>

## 【10 入学手続等】

(1) 入学手続の日時 **平成31年2月21日(木)、22日(金) 午前9時～午後4時**  
※上記日時に手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとみなす。

(2) 入学手続の場所

**京都府立医科大学学生部学生課入試担当**

(京都府立医科大学 河原町キャンパス 基礎医学学舎2階)

(3) 入学手続に必要なもの等

合格者に対しては、合格通知の際に入学手続に必要な事項をお知らせするが、上記入学手続日に最低限必要なものは次のとおりである。

ア 入学料 282,000円

イ 誓書(本学所定の用紙)

(注) ①入学料は改定される場合がある。

②入学料納入方法は合格通知の際に知らせる。

③納入した入学料は、返還しない。

④郵送による入学手続は受け付けない。

⑤授業料は入学後に別途指示する。(年額535,800円を2期(前期・後期)に分けて納付する。但し、金額は改定される場合がある。)

⑥卒業見込みで受験した者のみ、卒業証明書及び成績証明書を卒業後速やかに提出すること。

## 【11 留意事項】

(1) 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合は受理しない。

(2) 書類受理後の記載事項の変更は認めない。

(3) 書類に虚偽の記載があった場合は入学許可後であっても入学を取り消すことがある。

(4) 受信場所を変更したときは、直ちに届け出ること。

(5) 受理した書類及び入学考査料は返還しない。

## 【12 その他の注意事項】

(1) 試験室の下見は許可しない。

(2) 試験当日、合否電報等を扱っている者があっても、本学とは何ら関係がないので、一切責任は負わない。

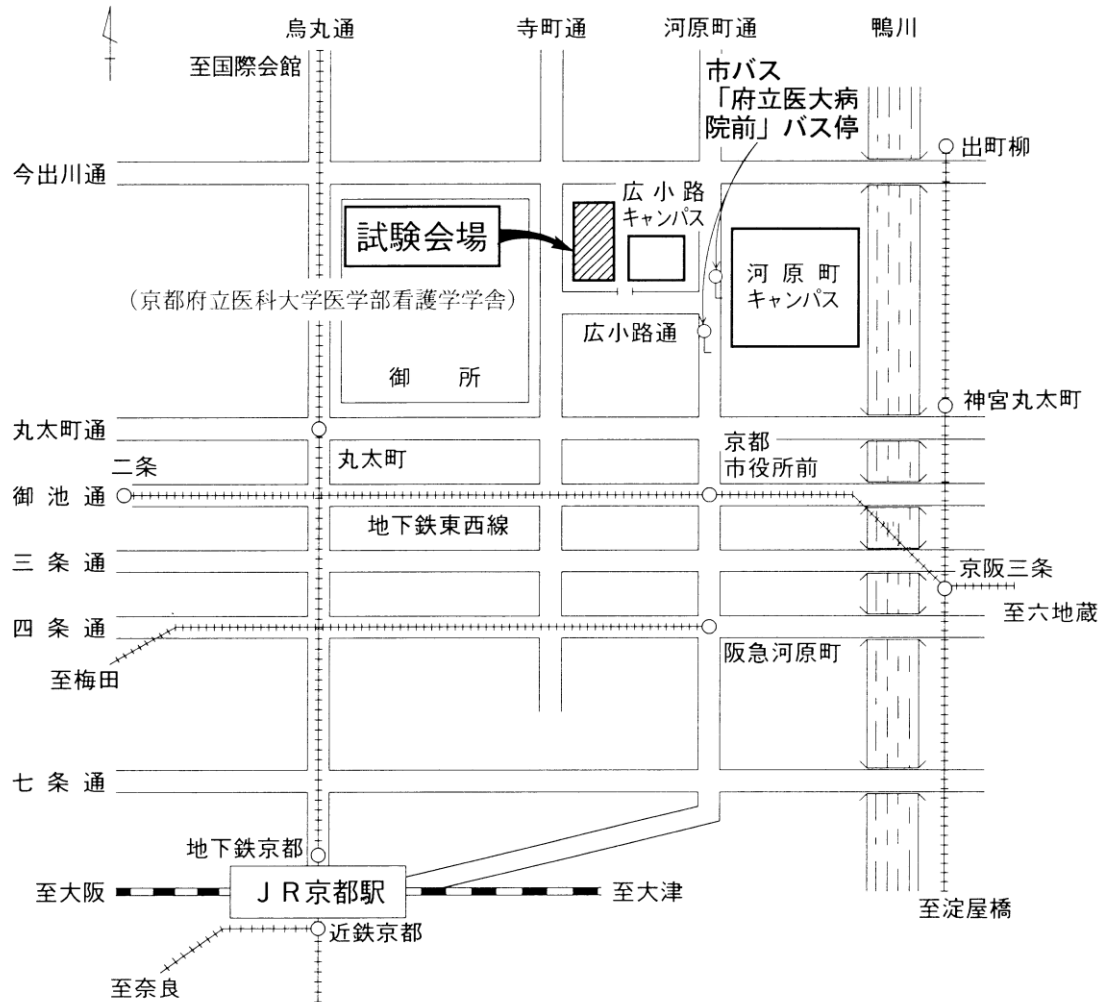
(3) 受験上の注意事項は次のとおりであるので十分留意すること。

①試験当日は、必ず受験票を持参し、試験の際、机の上に置くこと。

②試験当日は、所定の時刻までに試験室の座席に着席すること。(受験票送付時に知らせる。)

- ③試験開始時刻に遅れた場合は、試験場の監督者に申し出て指示を受けること。  
15分以内の遅刻者は、やむを得ない理由がある場合に限り受験を許可するが、その他は一切許可しない。
- ④試験問題についての質問及び受験生の私語は一切許さない。
- ⑤試験室では、特に指定のあったものを除き、受験票、黒鉛筆、黒色のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可。)、定規、時計(時計機能のみのもにに限る。また、辞書、電卓等の機能がないか判別しづらいものは不可。)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(箱又は袋から中身だけ取り出したもの)以外は机の上に置かないこと。
- ⑥解答には黒以外の鉛筆、シャープペンシルを使用してはならない。
- ⑦携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等は、試験室に入る前に電源を切っておかばん等に入れておくこと。

## < 入学試験会場案内 >



試験会場 京都府立医科大学 看護学学舎内  
京都市上京区清和院口寺町東入ル中御霊町410

交通機関 JR京都駅から  
市バス 4・17・205号系統で「府立医大病院前」下車

**(注) 試験会場の下見は許可しない。**

## 事前相談等連絡票

**京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻(博士前期課程)**  
**平成31年度入学志望者：事前相談等連絡票**

京都府立医科大学学生部  
 学生課入試担当者 様

貴大学院の平成31年度入学を志望するにあたり、以下のとおり、事前相談を希望しますので、よろしくお願ひします。

ふりがな 氏名		年齢	歳	性別	男・女
連絡先	〒 ----- TEL: 自宅 - - - 携帯 - - - FAX: - - -				
志望先	出願資格	/	研究領域	教員名	
		第1志望			
		第2志望			
事前相談 希望日時	第1希望	平成	年	月	日( ) 午前・午後 時 分 ~
	第2希望	平成	年	月	日( ) 午前・午後 時 分 ~
	第3希望	平成	年	月	日( ) 午前・午後 時 分 ~

(注1) 上記太線枠内を記入の上、メールまたはFAXにより送付してください。(やむをえない場合は郵送可)

なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認するようにしてください。

**送付先：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp**

**FAX番号：075-251-5216**

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町465  
 京都府立医科大学学生部学生課入試担当  
 TEL 075-251-5167

(注2) 「年齢」は、平成31年4月1日現在のものを記入してください。

(注3) 「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ(携帯電話を含む)を記入してください。

(注4) 「志望先」の「出願資格」は2~3頁を参考の上、該当する番号を記入してください。

(注5) 「志望先」の「研究領域」「教員名」は15頁を参考の上、志望する研究領域及び教員名を記入してください。(第2志望については、志望する場合のみ記入すること。)

(注6) 「事前相談希望日時」は、土日祝を除く9時から17時の間で、記入してください。

# 保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

## 【教育目的】

保健看護学研究科では、高齢化や京都府北部の医療問題や高度医療の享受のために、高度な看護実践能力と管理能力、社会に求められる保健看護学における研究の探究を特色とする。本研究科の教育・研究は、現代の多様な保健・医療のニーズに対応し、複雑化する疾病の予防と地域住民の健康増進に寄与することを目的としている。

本課程では以下の能力を涵養し、地域社会において貢献できる人材を育成する。

- 1 府北部、中部地域における高齢化した農山村地域で必要とされる高度な看護実践能力と、地域で有用な地域包括医療の推進に寄与できる管理能力
- 2 高い倫理観を持ち、豊かな人間性と広く社会的な視点から、高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力と管理指導能力
- 3 高度な学識と医療を結びつけ、保健看護学の発展に寄与できる研究能力

## 【教育課程の概要】

### 1 教育課程

共通科目と専門科目から編成され、共通科目には専門科目を支える科目を配置している。専門科目には、保健看護学教育・研究者や、高度看護実践指導者（がん専門看護師を含む）となるための科目を設定し、学生がそれぞれの希望進路に合わせて選択できるように配慮した。

### 2 履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように30単位以上を修得しなければならない。

#### (1) 履修科目と修得単位

- ア 共通科目は、必修科目3科目及び選択科目1科目以上を履修し、計8単位以上修得する。
- イ 専門科目は、12単位以上、特別研究・演習・実習で計10単位以上を修得する。

がん看護専門看護師コースについては、38単位課程として日本看護系大学協議会の認定を受けている。学生は、希望する課程に応じ、各教育課程表（14頁の表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する。

#### (2) 研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

### 3 修了要件

#### (1) 修了年限

修業年限は2年とする。但し、在学期間は4年を超えることができない。

#### (2) 修了要件

修了要件は、共通科目8単位以上、専門科目22単位以上を履修し、計30単位以上

を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

がん看護専門看護師コースについては、各教育課程表（14頁の表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する他、大学院必修科目を修得し、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することが必要である。

#### 4 学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

**保健看護学専攻 修士（保健看護学）**

**Graduate School of Nursing for Health Care Science, Master of  
Nursing for Health Care Science**

である。

#### 5 長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、学生課入試担当（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

表1 授業科目と担当教員

区分	授業科目名		単位数				学期	修了要件履修単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
			必修	選択	CNSコース 必修	選択				
共通科目	[1]	保健看護学理論	2		2		前期	8 単 位 以 上	◎吾妻知美、岩脇陽子、江本厚子、北島謙吾、 關戸啓子、星野明子、井上玲子	
	[2]	研究方法論特論	2		2		前期		◎關戸啓子、松岡知子、山中龍也	
	[3]	保健看護情報科学特論		2		2	前期		浅野弘明	
	[4]	保健福祉政策特論		2		2	後期		◎星野明子、上掛利博、志澤美保、臼井香苗、 千葉圭子	
	[5]	看護教育学特論		2		2	前期		◎岩脇陽子、滝下幸栄	
	[6]	看護倫理		2		2	後期		◎吾妻知美、岩脇陽子、江本厚子、松岡知子 吉岡さおり、岡野明美、瀬戸山晃一	
	[7]	看護管理論		2		2	前期		◎吾妻知美、宮原晴子	
	[8]	コンサルテーション論		2		2	後期		◎北島謙吾、占部美恵、岡野明美	
	[9]	看護政策論		1		1	前期		◎滝下幸栄、瀬戸奈津子、大島敏子	
	[10]	英書講読	2		2		前期		藤田佳信	
	[11]	時間生物学特論		1		1	集中		八木田和弘(三大学教養科目)	
	小計(11科目)		6	14	6	14				
専門科目	[12]	健康増進支援技術特論		2		2	後期	12 単 位 以 上	◎星野明子、志澤美保、臼井香苗	
	[13]	地域保健看護学特論		2		2	前期		星野明子	
	[14]	高齢者保健看護特論		2		2	前期		◎江本厚子、大橋純子、岡野明美	
	[15]	女性保健看護学特論		2		2	後期		松岡知子	
	[16]	高齢者ケア特論		2		2	後期		◎江本厚子、鈴木 聡、大橋純子、岡野明美	
	[17]	ヘルスアセスメント特論		2	2		後期		◎關戸啓子、北島謙吾、岡本和真	
	[18]	健康回復支援技術特論		2		2	後期		◎關戸啓子、滝下幸栄、山本容子	
	[19]	成人健康回復期支援特論Ⅰ		2		2	前期		岩脇陽子	
	[20]	成人健康回復期支援特論Ⅱ		2		2	後期		◎岩脇陽子、室田昌子	
	[21]	精神保健看護学特論		2		2	前期		◎北島謙吾、占部美恵	
	[22]	発達障害特論		2		2	後期		森本昌史	
	[23]	小児看護特論		2		2	後期		園田悦代	
	[24]	臨床遺伝学特論		2		2	後期		◎山中龍也、水田依久子	
	[25]	病態生理学総論		2	2		前期		◎山中龍也、岩破一博、森本昌史、川口淳、關戸啓子	
	[26]	腫瘍病態生理学各論		2	2		後期		◎山中龍也、岩破一博、森本昌史、川口淳	
	[27]	臨床薬理作用論		2	2		後期		◎山中龍也、岩破一博、森本昌史 川口淳、山本容子	
	[28]	がん看護学特論		2	2		前期		◎岩脇陽子、吉岡さおり、藤田かおり	
	[29]	がん看護学援助特論		2	2		後期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、星野明子、鈴木弦、 田村恵子、作田裕美	
	[30]	緩和ケア		2	2		後期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、北島謙吾、 田村恵子、福重哲志、尾下玲子	
	[31]	がん薬物療法看護		2	2		通年		◎吉岡さおり、岩脇陽子、滝下幸栄、關戸啓子、 越智幾世、金沢元洪、吉田直久、神林祐子、 村木明美	
	小計(20科目)			40	16	24				
特別研究・演習・実習	[32]	特別研究	8					10 単 位 以 上	江本厚子、星野明子、岩破一博、松岡知子、 山中龍也、吾妻知美、關戸啓子、岩脇陽子、 北島謙吾、森本昌史、室田昌子、大橋純子、 志澤美保、滝下幸栄、園田悦代、吉岡さおり	
	[33]	専門演習	2						◎吉岡さおり、岩脇陽子、室田昌子、 上野博司、田村恵子、白井由紀	
	[34]	がん看護学演習Ⅰ			2		前期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、滝下幸栄、室田昌子、 越智幾世、田口哲也、金沢元洪、石川剛、 吉田直久、神林祐子	
	[35]	がん看護学演習Ⅱ			2		後期		◎岩脇陽子、吉岡さおり	
	[36]	がん看護学課題研究			2				◎岩脇陽子、吉岡さおり、服部美景	
	[37]	がん看護学実習Ⅰ			2		前期		◎岩脇陽子、吉岡さおり、吉岡とも子、越智幾世、 服部美景	
	[38]	がん看護学実習Ⅱ			2		前期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、越智幾世	
	[39]	がん看護学実習Ⅲ			2		前期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、滝下幸栄、室田昌子、 吉岡とも子、越智幾世、田口哲也、金沢元洪、 石川剛、吉田直久	
	[40]	がん治療看護実習Ⅰ			2		後期		◎吉岡さおり、岩脇陽子、吉岡とも子、越智幾世、 上野博司、神林祐子	
[41]	がん治療看護実習Ⅱ			2		前期				
	小計(10科目)		10		16					
合計(41科目)			16	54	38	38	30単位以上			



表2【がん看護専門看護師コースの教育課程表】

科目区分 (必要履修単位)	大学院該当科目	必修 選択	単 位 数	配当学年				備 考
				1学年		2学年		
				前 期	後 期	前 期	後 期	
専門看護師	[1] 保健看護学理論	必修	2	2				
共通科目A (8単位以上)	[2] 研究方法論特論	必修	2	2				
	[5] 看護教育学特論	選択	2	2				
	[6] 看護倫理	選択	2		2			
	[7] 看護管理論	選択	2	2				
	[8] コンサルテーション論	選択	2		2			
	[9] 看護政策論	選択	1	1				
	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
専門看護師	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
共通科目B (6単位以上)	[25] 病態生理学総論	必修	2	2				
	[27] 臨床薬理作用論	必修	2		2			
	[26] 腫瘍病態生理学各論	必修	2		2			
がん看護共通科目 (6単位以上)	[28] がん看護学特論	必修	2	2				
	[29] がん看護学援助特論	必修	2		2			
	[30] 緩和ケア	必修	2		2			
がん看護専門科目 (8単位以上)	[31] がん薬物療法看護	必修	2		2			
	[34] がん看護学演習Ⅰ	必修	2	2				
	[35] がん看護学演習Ⅱ	必修	2		2			
	[37] がん看護学実習Ⅰ	必修	2	2				
がん看護実習科目 (10単位以上)	[38] がん看護学実習Ⅱ	必修	2			2		
	[39] がん看護学実習Ⅲ	必修	2			2		
	[40] がん治療看護実習Ⅰ	必修	2		2			
	[41] がん治療看護実習Ⅱ	必修	2			2		
	[10] 英書講読	必修	2	2				
大学院必修科目	[36] がん看護学課題研究	必修	2			2		

※上記38単位課程は、一般社団法人日本看護系大学協議会において認定されたものである。  
(認定日:平成29年1月9日、有効期間:平成29年4月～平成39年3月)

表 3

## 保健看護学研究科博士前期課程研究領域・単位認定教員一覧

研究領域	職位	担当者	室番号	電話番号	備考
老年・在宅看護学	教授	江本 厚子	318	212-5442	
	准教授	大橋 純子	316	212-5440	
地域看護学	教授	星野 明子	310	212-5434	
	准教授	志澤 美保	303	212-5427	
女性生涯保健学	教授	岩破 一博	307	251-5560	
母性看護学・助産学	教授	松岡 知子	321	212-5445	
臨床健康科学・臨床腫瘍学	教授	山中 龍也	305	212-5429	
看護倫理・管理学	教授	吾妻 知美	315	212-5439	
基礎看護学	教授	關戸 啓子	317	212-5441	
	准教授	滝下 幸栄	304	212-5428	
成人看護学	教授	岩脇 陽子	322	212-5446	看護学科長
	准教授	室田 昌子	313	212-5437	
精神看護学	教授	北島 謙吾	301	212-5425	
小児発達保健学	教授	森本 昌史	331A	251-5571	
がん看護学	教授	岩脇 陽子(兼)	322	212-5446	
	准教授	吉岡さおり	314	212-5438	

(注) 各担当者の研究内容は、本学ホームページ<http://www.kpu-m.ac.jp/doc/department/hoken-kango/research.html>を参照のこと。

入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地

京都府立医科大学学生部学生課入試担当

電話番号 075-251-5167 (直通)

問合せはやむをえない場合を除き志願者本人が行うこと。